

本や短冊づくりで楽しむ 市立図書館七夕まつり開催

7月6日、七夕まつりが市立図書館で開催されました。未就学児や小学生と保護者52人が参加。おはなし会では、大型絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを実施。また、参加者それぞれが願いを書いた短冊や、手作りの笹飾りを笹竹に飾るなど、季節を感じるイベントとなりました。



季節ごとに趣向を凝らした内容で実施しているこのイベント。親子や参加者同士のコミュニケーションの場となりました

疫病の原因と対策を学ぶ おとなのモーモースクール

7月10日、中央公民館でおとなのモーモースクール（主催：畜産ネットワーク宮崎）が開催され、畜産関係者など16人が参加。今回は牛の疫病（牛ウイルス性下痢・粘膜病）の病状と対策について獣医師より講話がありました。同会主催の勉強会は、今後も定期的で開催される予定です。



主催者代表の山崎野枝さんは「畜産業に関わる人のネットワーク強化・情報共有を図り、業界の発展に貢献したい」と話していました



食材の説明をする地井潤シェフ。食事には、あらかじめ児童の好きな食材と嫌いな食材を聞き、その両方が使用されました

一流シェフが小林産食材調理 東方小児童ら味わい魅力学ぶ

7月1日、「シェフのこばやし食育教室」が“kokoya de kobayashi”で開催されました。東方小の6年生を対象に、地元産の食材を使った料理を児童に提供。谷山心絵さんは「地産地消の大切さ、小林市で作られた食材のおいしさを改めて知ることができました」と感想を述べました。



発見した小園公平さんは「木の隙間で赤く目立っていた。希少な昆虫だと思うず、調べてみて驚いた」と話していました

幻の赤いクワガタ虫発見！？ 直接触れないよう要注意！！

7月4日、北西方で県内での発見が数例しかなく、県の準絶滅危惧種に指定されている昆虫「ヒラズゲンセイ」が発見されました。ツチハンミョウ科の甲虫で鮮紅色の体と大きなあごが特徴。体液には有害物質が含まれ、皮膚の炎症を起こすため注意が必要です。個体は県立博物館へ寄贈されました。



学校の授業とは違う雰囲気の中で、社会人・大学生の考え方に触れることができる機会となりました

自分たちの未来について「悩む力」を育むための授業

7月13日、中央公民館で「小林近未来ハイスクール」が開催されました。市内の中学・高校の生徒が大学生や社会人と自由に話し合い、働くことや生きることについて考えることを目的に開催。約100人が参加し、自分の将来像について話し、大学生や社会人の実際の生活などについて意見を交わしました。

小林男子バレースポ少が九州大会へ

7月17日、小林男子バレースポーツ少年団が市長を訪問し、小学生バレーボール九州大会出場を報告しました。主将の久保田一綺さん(小林小6年)は「周りに声をかけ、チームをまとめていきたい」と決意を述べました。



人権擁護委員の委嘱

7月1日、若松照雄さんに人権擁護委員が委嘱されました。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますので、お気軽に相談ください。相談日は広報こばやしのくらしのカレンダーに毎月掲載しています(今月は13日に掲載)。



人気絵本「いのちをいただく」の主人公坂本義喜さんが講演

7月12日、絵本「いのちをいただく～みいちゃんがお肉になる日～」の主人公坂本義喜さんが三松小6年生に向けて講演会を行いました。坂本さんは元食肉センター職員。仕事を通して感じた命の大切さ、生き物との向き合い方を説明し、「いただいた多くの命への恩返しは、皆さんの命を精一杯輝かせること」と話していました。



身振りやユーモアを交えながら和やかに話をする坂本さん。この絵本は10万部を超える物で全国各地で講演会をされています

三松ハンドスポ少全国大会に出場

7月17日、三松ハンドボールスポーツ少年団が市長を訪問し、全国大会出場を報告しました。6月の県新人大会女子の部で優勝。主将の中村清乃さん(三松小6年)は「考えながらプレーをし、1点でも多く取りたい」と抱負を述べました。



野尻クラブスポ少が全国野球大会へ

7月17日、野尻クラブスポーツ少年団が市長を訪問し、全国大会出場を報告しました。6月の県予選で3位となり出場権を獲得。主将の立山伯さん(栗須小6年)は「力を合わせて、優勝目指して頑張ります」と意気込みを語りました。



内閣総理大臣からのメッセージを読み上げ伝達した、椎屋会長と宮原市長。今年は更生保護制度が施行されて70年目の節目になります

誰もがリスタート(再出発)できる社会づくりが大切

7月12日、第69回社会を明るくする運動の内閣総理大臣のメッセージ伝達式が行われました。小林地区保護司会椎屋三八子会長が「再犯防止には地域の理解や再出発の機会の充実が重要。更生保護の活動を進めて欲しい」と市長へメッセージを伝達。非行や犯罪防止のために、地域の連携が重要であることを確認しました。

日ごろの鍛錬の成果を披露

6月23日、第1回少林寺流錬心館宮崎県空手道交流大会(主催:小林市空手道連盟)が市民体育館で開催されました。未就学児から大人まで約250名の選手たちが県内から集い、型や組手の部門で競い合いました。



小林振武会の平川さん全国大会へ

7月1日、小林振武会の平川蓮さん(小林小6年)が、全国大会への出場を市長に報告しました。6月の県道場少年剣道錬成大会で小学生個人の部で優勝し、出場権を獲得。平川君は「まずは初戦突破のため頑張りたい」と抱負を述べました。



地域と一体となった交通安全対策で安心・安全を目指す

7月11日、夏の交通安全県民総ぐるみ運動にあわせて、県内各所を啓発巡回するキャラバン隊が市役所を訪れました。市地域婦人連絡協議会や地域住民など、約100人が出席。「地域と一体となった交通安全対策をお願いしたい」との県知事メッセージが読み上げられました。



県知事からのメッセージを岩崎副市長に伝達するキャラバン隊の隊長と隊員、市地域婦人連絡協議会員のみなさん

野尻町の歴史を見つめ続ける

6月19日、園田隆さん(紙屋)が野尻の歴史をつづった「野尻町史余話」を出版しました。野尻町史の編さんにも携わった園田さん。その後も独自で同町を調査。今回一冊の本にまとめ出版しました。



一緒に体を動かし交流を図る

6月26日、市地域婦人連絡協議会の体育まつりが、市民体育館で開催されました。普段はボランティア活動に取り組んでいる、同会員約40名が参加。大玉転がしやパン食い競争などの競技を行いながら、交流を深めていました。

